

令和4年度 第2回沼田市地域公共交通会議

日時 令和4年12月21日(水)

午後1時30分から

場所 テラス沼田 防災会議室403

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) バスカードの発売終了について

(2) 定期券種類の変更について

4 報告事項

- ・ デマンドバス運行実績等

5 その他

6 閉 会

沼田市地域公共交通会議委員名簿

(任期:令和3年4月1日～令和5年3月31日)

番号	委員氏名	所属名称・役職等	備 考
1	川田 正樹	沼田市副市長	会長
2	安藤 均	沼田市総務部長	
3	山田 重之	沼田市都市建設部長	
4	武井 誠	沼田市区長会副会長	
5	吉野 満由美	沼田市老人クラブ連合会女性委員会委員長	
6	阿部 正治	関越交通(株)常務取締役	
7	高橋 良彰	(一社)群馬県タクシー協会北毛支部利根沼田地区会長	
8	柳澤 孝司	全国交通運輸労働組合総連合群馬県支部支部長	
9	佐藤 俊也	(一社)群馬県バス協会会長	
10	清水 憲明	(一社)群馬県タクシー協会会長	
11	鷺巣 雄一	関東運輸局群馬運輸支局長	
12	松井 紀	群馬県県土整備部交通政策課長	
13	木内 弘二	沼田土木事務所長	
14	吉井 仁	沼田警察署長	

沼田市地域公共交通会議設置要綱

(設置)

第1条 道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、沼田市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を設置する。

(協議事項等)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた乗合旅客輸送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (2) 市が実施する有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通会議の運営方法、その他交通会議が必要と認める事項

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる事項については、協議を省略することができる。この場合において、市長は、その内容を書面により速やかに交通会議へ報告するものとする。

- (1) 運行時刻の変更
- (2) 運行回数を増加する変更
- (3) バス停留所の新設
- (4) バス停留所の位置及び名称の変更
- (5) 災害等による緊急的又は臨時的な路線の変更

(委員)

第3条 交通会議の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 副市長
- (2) 市長が指名する職員
- (3) 住民又は利用者の代表
- (4) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (5) 一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者
- (6) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (7) 一般社団法人 群馬県バス協会
- (8) 一般社団法人群馬県タクシー協会
- (9) 関東運輸局群馬運輸支局長又はその指名する職員

(10) 群馬県県土整備部交通政策課長又はその指名する職員

(11) 前号に掲げる者のほか、道路管理者、群馬県警察、学識経験者、その他市長が交通会議の運営上必要と認める者

2 委員は、交通会議の会議（以下「会議」という。）に代理人を出席させることができる。

3 委員の任期は、委嘱の日から2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（交通会議の運営等）

第4条 交通会議に会長を置き、副市長をもって充てる。

2 会長は、交通会議を代表し、会務を総括する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名した者がその職務を代理する。

4 会議は、会長が招集し、その議長となる。

5 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

6 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、会長の決するところによる。

7 会議は原則公開とする。

（協議結果の取扱い）

第5条 委員及びその関係者は、会議において協議が調った事項について、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

（幹事会）

第6条 交通会議は、その運営に当たって必要な事項を審議するため、幹事会を置くことができる。

2 幹事会は、第3条に定める委員その他交通会議が必要と認めた者をもって組織する。

3 幹事会は、必要に応じて関係者に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（庶務）

第7条 交通会議の庶務、地域公共交通に関する相談、苦情及びその他の対応は、総務部企画政策課において処理する。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年10月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年5月26日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

バスカードの発売終了について

関越交通（株）が運行する路線バス及び前橋高崎地区乗入事業者 6 社が運行する路線バスで導入している磁気式の「バスカード」は、システム老朽化に伴い運用継続が困難な状態であり、南部地区（前橋・高崎・渋川地区）においては令和 4 年 3 月 31 日を以ってバスカードの発売を終了し、使用できる期間を令和 5 年 3 月 31 日までとしている。

北部地区（沼田・利根・吾妻地区）においては、バスカードによる高齢者への割引サービスを実施している市町村の IC 乗車券での対応についての検討を進めてきたが、この度、そのサービス導入の見通しが立ったことから、当該地区における路線バスにおいても下記によりバスカードを廃止することで関係市町村及び関越交通（株）との協議が調った。

そこで、下記対象においても、これに合わせてバスカードを廃止しようとするもの。

記

(1) 対象

沼田駅～迦葉山 線
沼田駅～佐山 線
沼田駅～岩本 線
沼田駅～南郷 線
デマンドバス A エリア
デマンドバス B エリア

(2) バスカードの発売終了日

令和 5 年 3 月 31 日

(3) バスカードの利用終了日

令和 6 年 1 月 31 日

(4) 払戻し期間

利用終了日から概ね 5 年間

以上

定期券種類の変更について

関越交通（株）が運行する路線バスにおいては旅客の利用頻度に合わせた3種類の定期券を設定して運用してきたが、渋川以南ではこれを令和4年4月1日から1種類に統一している。

この度、北部地区（沼田・利根・吾妻地区）においても統一することになったので、これに合わせて下記の路線においても同様に変更しようとするもの。

記

(1) 対象路線

- 沼田駅～迦葉山 線
- 沼田駅～佐山 線
- 沼田駅～岩本 線
- 沼田駅～南郷 線

(2) 変更内容

週日および平日定期の廃止・割引率の変更

(現行～3/31)					→	(新制度 4/1～)			
種類	日数	割引率			種類	日数	割引率		
		通勤	通学				通勤	通学	
週日定期	21	30.0%	40.0%	廃止	普通定期	30	41.67%	50.00%	
平日定期	25	30.0%	40.0%	廃止					
普通定期	30	30.0%	40.0%	継続					

- ※ 新定期券制度の運賃額は現行定期の平日定期の金額と同額
- ※ 定期券の種類は1ヵ月と3ヶ月で変更なし

(3) 実施予定日

令和5年4月1日

以上